

健康テラス

がんばれ！にっぽん！コロナに負けるな!!

肺血栓塞栓症(はいけっせんそくせんしょう)

長ったらしい名前ですが、エコノミークラス症候群と聞けば、知ってる方は多いでしょう。長時間狭い座席に座ることで、太ももやふくらはぎの深い静脈の血流がうっ滞して血栓(深部静脈血栓)ができて、さらに血栓が肺に流れ、肺血栓塞栓症を生じることになります。そのほか、肥満の人、手術後の人、長い間床についていた人、遺伝性やがんなどで血液が固まりやすい人などには起こりやすい病気です。症状は突然現れることが多く、主なものとしては、息切れや呼吸困難、冷や汗、息を吸うときの胸の痛みなどがあります。肺動脈に詰まった血栓が大きかった場合は症状が重篤になりやすく、めまいや失神といった意識障害が出たり、心停止してしまったりすることもあります。また深部静脈血栓を起こしている場合は、足のむくみや腫れ、痛みを伴うことがあり、片方の足だけに現れる場合が多いです。

す。ただ詰まった血栓が小さかった場合は症状が軽かったり、ほとんど何も感じないことも少なくないので注意が必要です。この病気を疑った場合は、造影剤を点滴しながら、CT検査(CT造影)を行うことで肺動脈に血栓のあることを確認できます。

また血液検査で、D-Dimer(ディーダイマー)という値が高い場合この病気の存在を疑います。かかりつけ医で検査してもらうか、必要に応じて検査ができる総合病院へ紹介してもらうと良いでしょう。



成田内科医院
成田 裕介 先生



自宅での経管栄養

チューブなど用いて、胃や小腸に直接栄養を注入する方法を経管栄養といいます。鼻からチューブを入れる経鼻栄養や、お腹から直接、胃や小腸にチューブを入れる胃瘻・腸瘻などの種類があります。

事故や急な病気で口からの飲み込み(嚥下)ができない方には、非常に有用な方法です。

そして、経管栄養になっても自宅で生活することは可能なのです。実際、どの病気で胃瘻状態ですが、グランドゴルフも楽しめながら自宅で生活している方もいらっしゃいます。

経管栄養をしながら、自宅で生活するならば、経鼻栄養より、胃瘻・腸瘻の方が安全で楽です。栄養剤は、処方箋で処方するものや、自費で購入できる物など種類も多く、液状から半固体のものまで、形状もいろいろあります。

お食事のお皿やお箸に代わるもののが、栄養投与の物品ですが、これらは、医療機関で購入などできます。ゆっくり時間かけて(約1時間)、ベッドで休んでも、座っても注入可能です。

胃瘻・腸瘻したまま、お風呂・湯船も可能です。ケアなど心配な時は、訪問看護師さん等のサポートも受けられます。チューブは定期的に交換する必要がありますが、ご自宅や外来で交換は可能です。

もし、経管栄養を選択する場合になったら、生活の活動レベル等に応じて、チューブの選択もできますので、担当の先生に相談してください。

経管栄養

経鼻栄養

鼻から胃・小腸に細いチューブを入れる。
短期間・病院など。



胃瘻・腸瘻

お腹から直接胃・小腸にチューブを入れる。
長期可能・自宅や施設でも可能。



ホーム・ホスピス中尾クリニック
中尾 勘一郎 先生